

洪水・土砂災害を知る

洪水・土砂災害に備える

土砂災害の特徴と前兆現象

土砂災害は大雨や地震によって突然起こります。いつ、どこで、どの程度の規模で起こるのか、正確に予測することはできません。

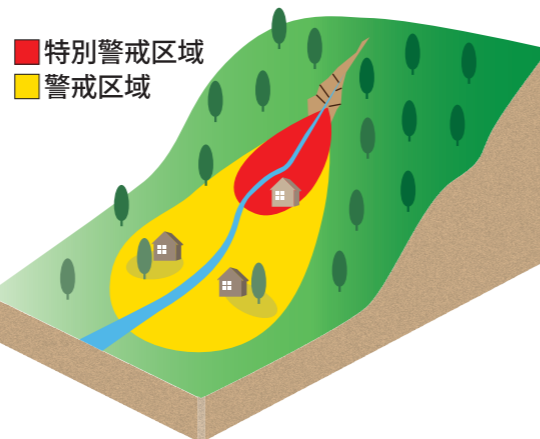
がけ崩れ (急傾斜地の崩壊)	土石流	地すべり
		
大雨などによって地面に水分がしみ込み、地盤がゆるみ斜面が突然崩れ落ちます。	長引く雨や台風の大雨で、谷や山にある土や石が一気に流されます。	緩やかな坂で、粘土のような滑りやすい土に雨がしみて、地面が動きます。
前兆現象に注意し、危険を感じたら速やかに避難しましょう!		
前兆現象 →小石がパラパラ落ちてくる →がけから濁った水が出る →地下水や湧き水が止まる →がけにひび割れができる	前兆現象 →山鳴りがする →川の水が急に濁り流木が混ざりはじめる →雨が降り続けているのに川の水位が下がる	前兆現象 →地面にひび割れができる →沢や井戸の水が濁る →がけや斜面から水が噴き出す

土砂災害(特別)警戒区域

土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)
急傾斜地の崩壊や土石流等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命、または身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域です。特定の開発行為の制限、建築物の構造規制等が行われます。

土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)
急傾斜地の崩壊や土石流等が発生した場合に、住民等の生命、または身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域です。危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

〈土石流の場合〉



土砂災害警戒情報

大雨により、土砂災害の発生する危険性が非常に高くなったとき、長野県と長野地方気象台が共同で発表します。土砂災害警戒情報が発表されたときは、いつ土砂災害が起きてもおかしくない非常に危険な状態ですので、気象や雨量、土砂災害警戒区域の状況に注意し、早めに避難してください。

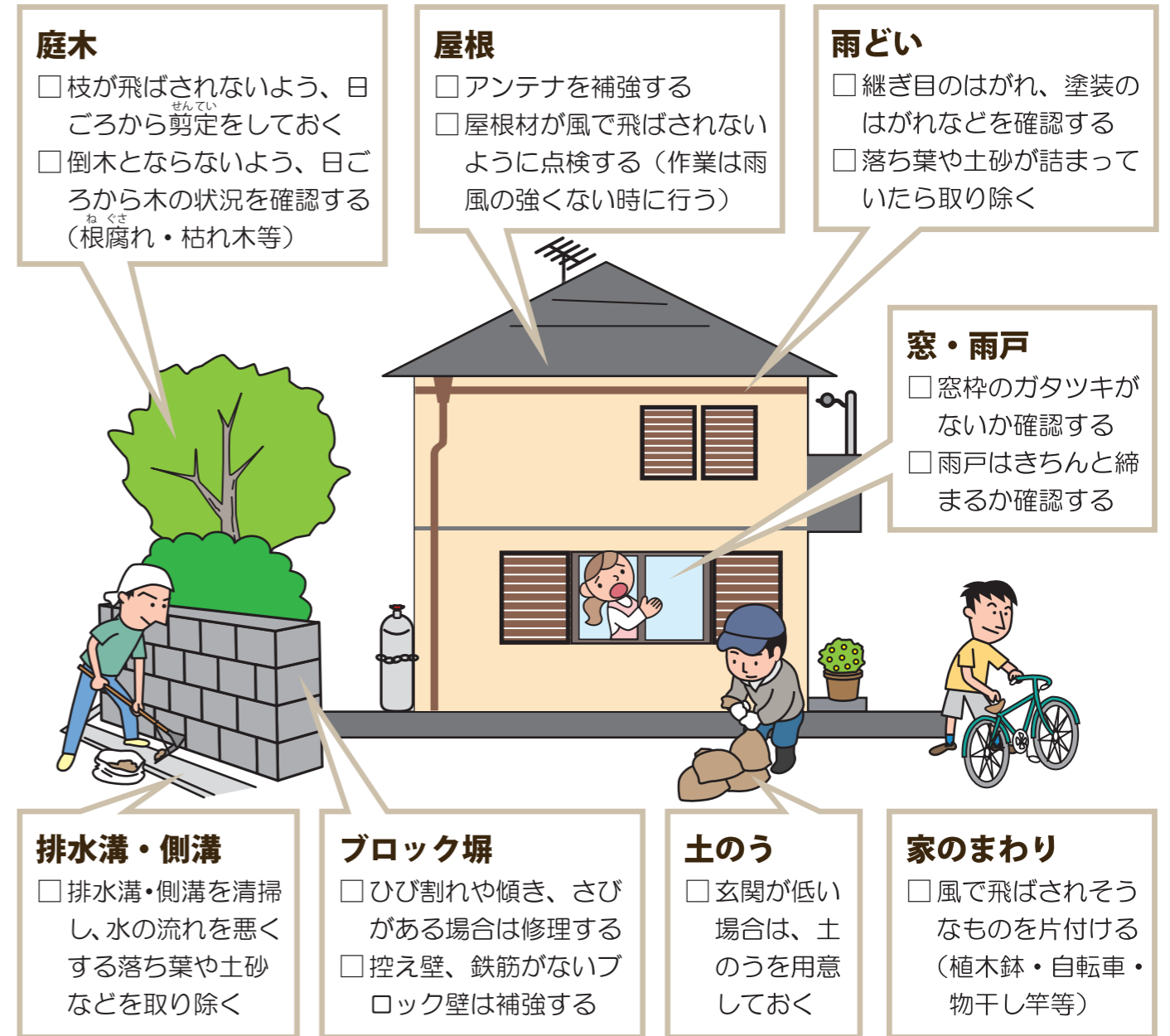
大雨特別警報

大雨特別警報が発表された場合、数十年に一度のこれまでに経験したことのないような、重大な危険が差し迫った異常な状況にあります。「**ただちに命を守る行動**」をしてください。

家の外の安全対策

☑️ チェックポイント

被害を軽減するために、日ごろから家屋などの周りを点検し、万全の対策を立てておきましょう。



- 庭木**
 - 枝が飛ばされないよう、日ごろから剪定しておく
 - 倒木とならないよう、日ごろから木の状況を確認する(根腐れ・枯れ木等)
- 屋根**
 - アンテナを補強する
 - 屋根材が風で飛ばされないよう点検する(作業は雨風の強くない時に行う)
- 雨どい**
 - 継ぎ目のはがれ、塗装のはがれなどを確認する
 - 落ち葉や土砂が詰まっていたら取り除く
- 窓・雨戸**
 - 窓枠のガタツキがないか確認する
 - 雨戸はきちんと締まるか確認する
- 排水溝・側溝**
 - 排水溝・側溝を清掃し、水の流れを悪くする落ち葉や土砂などを取り除く
- ブロック塀**
 - ひび割れや傾き、さびがある場合は修理する
 - 控え壁、鉄筋がないブロック壁は補強する
- 土のう**
 - 玄関が低い場合は、土のうを用意しておく
- 家のまわり**
 - 風で飛ばされそうなものを片付ける(植木鉢・自転車・物干し竿等)

集合住宅の安全対策



- 通路・階段**
 - 安全に避難できるよう、通行の妨げになるようなものがないか確認する
- ベランダ**
 - 避難はしごの使用法や、使用を妨げるものがないか確認する
- 防災用具・防火設備**
 - 消火器や住宅用火災警報器、受信機(防災監視盤)などの場所を確認する